

# 環境活動レポート

2015年度（2015年5月～2016年4月）



大場機工株式会社

2016年6月10日発行

OHBAKIKO CO., LTD

# 目次

1. 組織の概要	2 P
2. 対象範囲	4 P
3. 環境方針	5 P
4. 実施体系図	6 P
5. 環境目標とその実績	7 P
6. 環境活動計画の取組結果と評価、 次年度の取組内容	1 1 P
7. 環境関連法規等の順守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無	1 3 P
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	1 4 P

# 1. 組織の概要

## (1) 事業所名及び代表者氏名

大場機工株式会社  
代表取締役 大場正晴

## (2) 所在地

本社/工場 〒418-0037 静岡県富士宮市安居山44番の8  
TEL : 0544-27-6066  
FAX : 0544-27-6214  
敷地 : 7,000㎡  
建物 : 3,500㎡

第2工場 〒419-0316 静岡県富士宮市羽鮒69-1  
TEL : 0544-65-2188  
FAX : 0544-65-2466  
敷地 : 10,000㎡  
建物 : 3,000㎡



◎本社/工場



◎第2工場

## 【沿革】

昭和46年 大場機工を創業  
昭和56年 大場機工株式会社に改組  
昭和61年 パイプの引抜加工を始める  
平成 4年 光事業部を新設  
平成18年 エコアクション21認証取得  
平成19年 本社敷地内に北工場を新設  
平成20年 静岡県富士宮市羽鮒にて第2工場稼働  
平成22年 ISO9001認証取得  
平成25年 第2工場敷地内に事務所を新設

### (3) 環境管理責任者

管理部 業務課 望月洋明

### (4) 連絡先

連絡担当者：管理部 業務課 望月洋明  
TEL :0544-27-6066 FAX:0544-27-6214  
MAIL :hiroaki@ohbakiko.co.jp

### (5) 事業内容

ステンレスパイプの製造、2次加工及び  
プラスチック光ファイバー製品の加工、組立、試作、販売



◎第2工場事務所

## (6) 事業規模

年 度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
売 上 高	12億6,000万円	13億8,900万円	13億6,600万円	14億8,200万円	14億5,800万円	13億4,500万円
従 業 員	95名	102名	108名	108名	107名	107名
敷地：本 社	7,000㎡	7,000㎡	7,000㎡	7,000㎡	7,000㎡	7,000㎡
敷地：第2工場	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡
建物：本 社	3,500㎡	3,500㎡	3,500㎡	3,500㎡	3,500㎡	3,500㎡
建物：第2工場	2,500㎡	2,500㎡	2,500㎡	3,000㎡	3,000㎡	3,000㎡

## 2. 対象範囲

### (1) 認証、登録範囲

全組織、全活動、全従業員を対象とし、全社的に取り組む

### (2) レポートの対象期間及び発行日

対象期間：2015年5月～2016年4月

発行日：2016年6月10日

## 3. 環境方針

### 基本理念

『環境活動が、地球環境に関わる影響を認識し、  
全従業員が環境保全及び環境汚染防止に努め、よりよい企業活動を行う』

### 行動方針

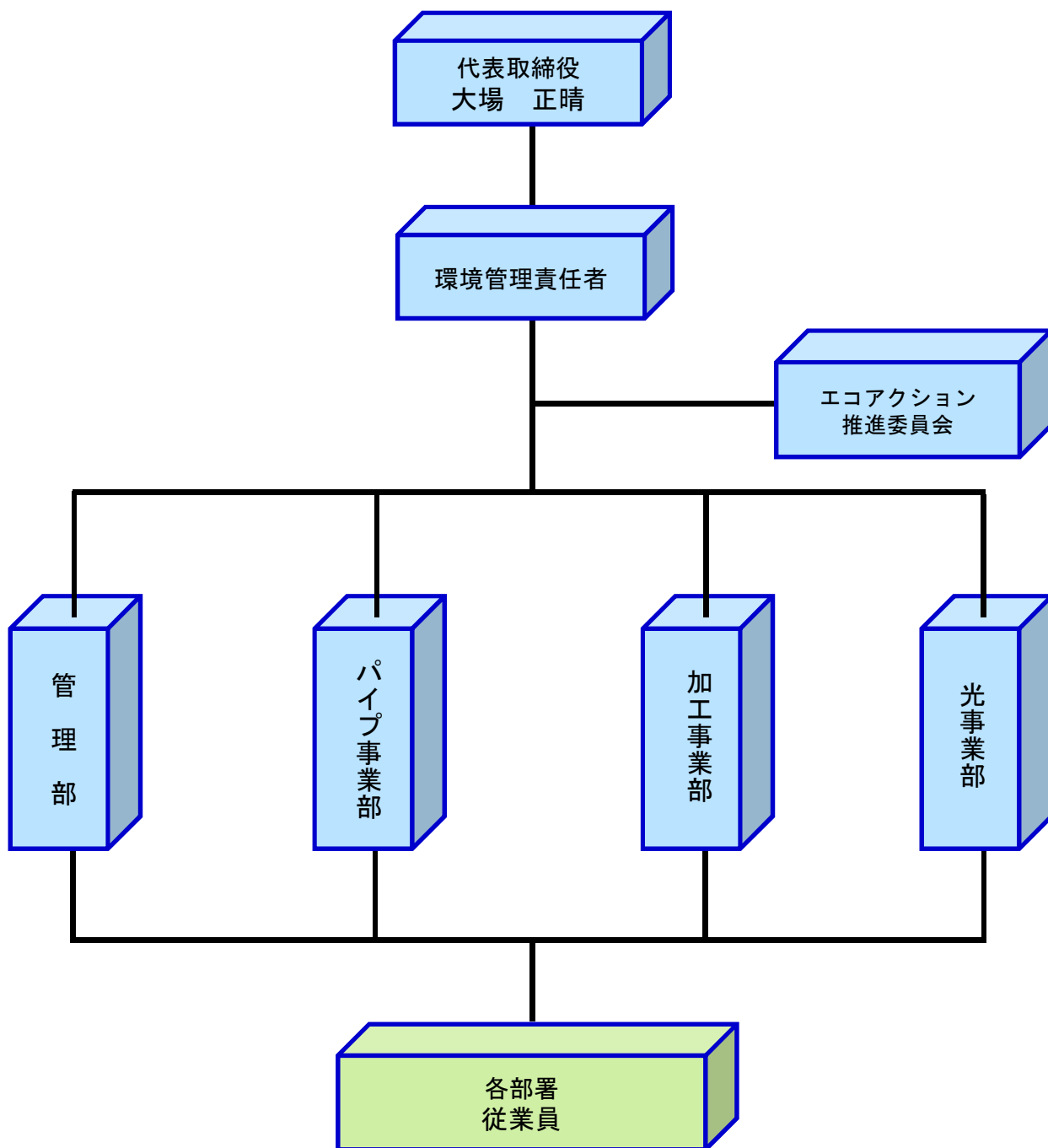
1. 環境関連法規制及び当社が同意した協定等は確実に遵守します。
  2. 電力、燃費の消費に伴う二酸化炭素排出量削減に努めます。
  3. 4R運動を推進し、省資源・廃棄物の低減に努めます。
  4. 水資源使用量の削減と適正使用に努めます。
  5. 事業活動で使用する化学物質使用量を抑制します。
  6. 事業活動において使用する資源・設備・販売製品等は、環境に考慮したグリーン調達を推進します。
  7. 製品の製造・容器包装・廃棄・リサイクルを通じて、環境に配慮します。
- 以上の環境方針は、全従業員に周知させるとともに環境活動レポートを社外に公開します。

平成19年6月14日制定  
平成26年6月18日改訂

大場機工株式会社

代表取締役 大場正晴

## 4. 実施体系図



平成28年6月6日 制定

## 5. 環境目標とその実績

環境目標項目	単位	H25年度 (基準年)	H27年度 目標	評価	H27年度 実績	環境目標値	
						H28年度 H25年度 実績対比	H29年度 H27年度 実績対比
1. 二酸化炭素 排出量の削減	kg-CO2	487,980	473,340	○	92.81%	-3.5%	-2.0%
					439,324	470,900	434,727
①購入電力量の削減	kwh	854,875	829,228	○	95.17%	-3.5%	-1.0%
					789,135	824,954	781,243
②ガス購入量の削減	kg	1,487	1,464	×	103.55%	-2.0%	-2.0%
					1,516	1,457	1,485
③ガソリン購入量の削減	ℓ	5,581	5,497	×	119.27%	-2.0%	-2.0%
					6,556	5,469	6,424
④灯油購入量の削減	ℓ	6,692	6,558	○	32.14%	-2.2%	-2.5%
					2,108	6,544	2,055
2. 水資源使用量の削減	m³	6,273	6,084	○	91.26%	-4.0%	-2.0%
					5,552	6,022	5,440
3. コピー用紙購入量の削減	kg	606 150,000枚	593 147,750枚	×	115.68%	-2.0%	-1.5%
					686	593	675
4. 化学薬品購入量の削減	kg	54,000	52,920	○	81.25%	-2.2%	-1.0%
					43,000	52,812	42,570
5. 廃プラスチック 排出量の削減	t	1.956	1.936	○	84.92%	-1.5%	-1.5%
					1.644	1.926	1.619
6. 可燃物排出量の削減	t	4.815	4.766	×	103.65%	-1.5%	-2.0%
					4,940	4.742	4,841
7. グリーン調達	—	—	省エネ商品の調査			他社の取組み 状況調査	グリーン購入比率： +2.0%
8. 製品/サービス	—	—	環境に配慮した 事務用品の使用			製造歩留りの向上	ステンレス くずの削減： -2.0%



## (1) 二酸化炭素排出量

排出係数  
0.525kg-CO2/kwh

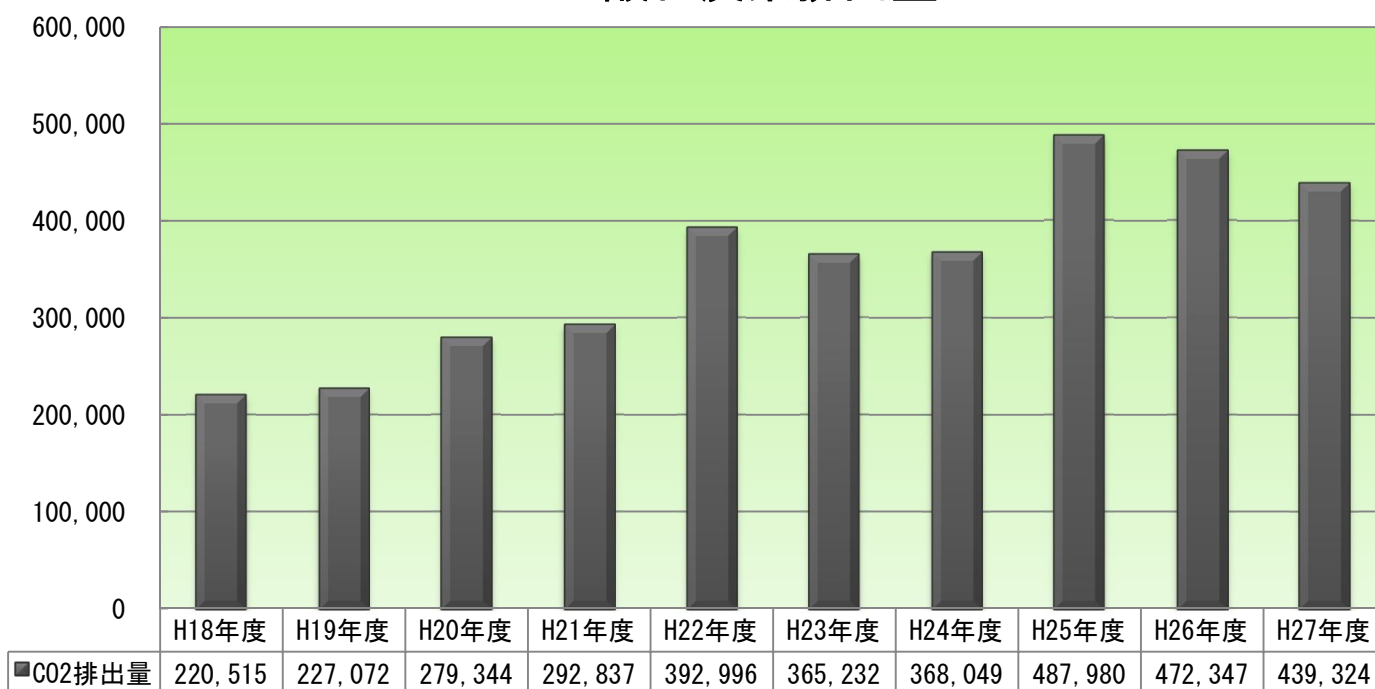
—	電力 (kwh)	ガス (kg)	ガソリン (ℓ)	灯油 (ℓ)
H25年度 実績対比	-3.0%	-1.5%	-1.5%	-2.0%
年度目標	829,228	1,464	5,497	6,558
年度実績	789,135	1,516	6,556	2,108
目標差	<b>-40,093</b>	<b>+52</b>	<b>+1,059</b>	<b>-4,450</b>
目標対比	<b>95.17%</b>	<b>103.55%</b>	<b>119.27%</b>	<b>32.14%</b>



※平成24年度以前の排出係数0.378kg-CO2/kwh  
※平成25年度以降の排出係数0.525kg-CO2/kwh

【kg-CO2】

## 二酸化炭素排出量

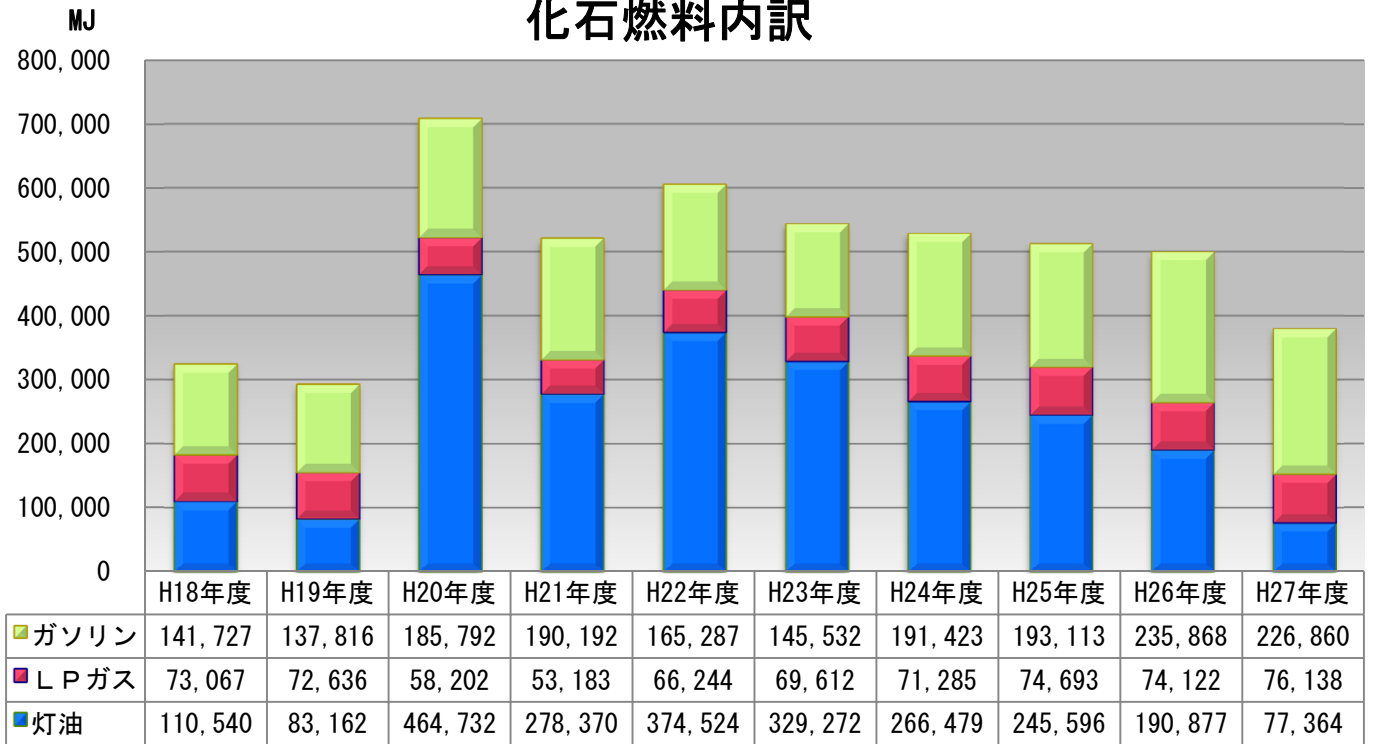


H25年度 実績対比	-3.0%
年度目標	473,340kg-co2
年度実績	439,324kg-co2
目標差	<b>-34,016kg-co2</b>
目標対比	<b>92.81%</b>

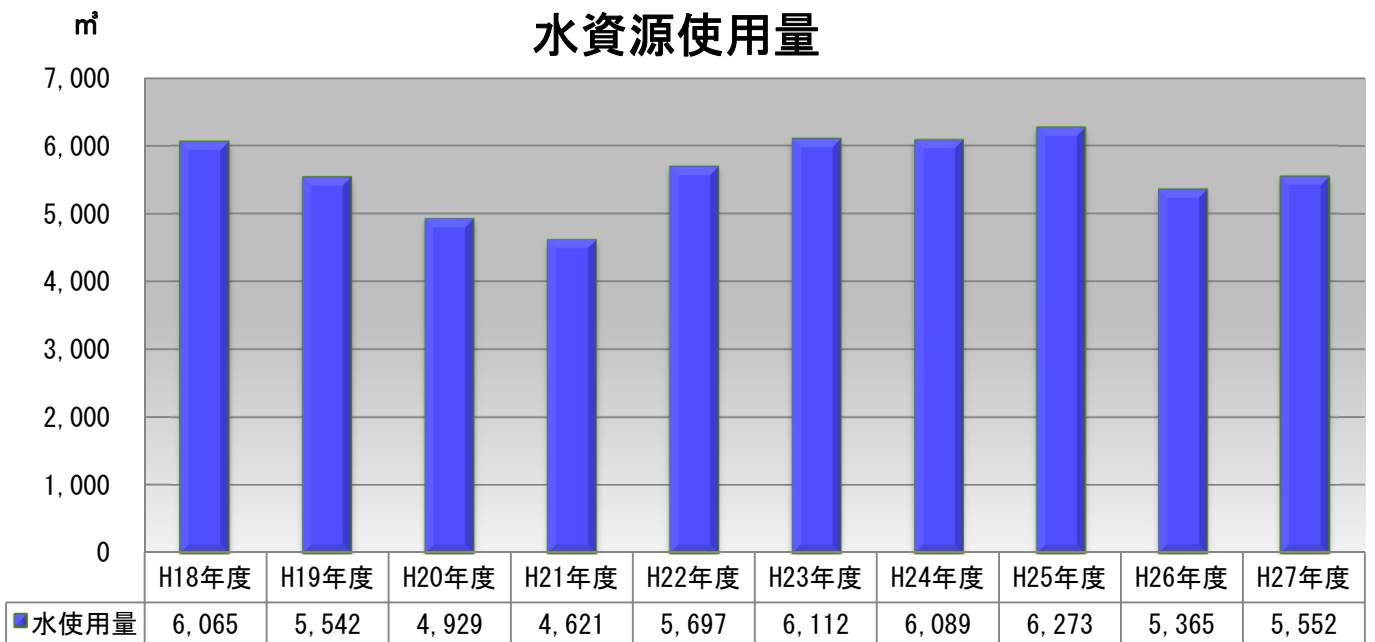
H27年度は、H26年度同様に『電力』及び『灯油』の削減により二酸化炭素排出量を削減することができました。

特に『灯油』については、第2工場のボイラー設備を撤廃したことにより大幅な削減に繋がりました。

## 化石燃料内訳



## (2) 水資源使用量

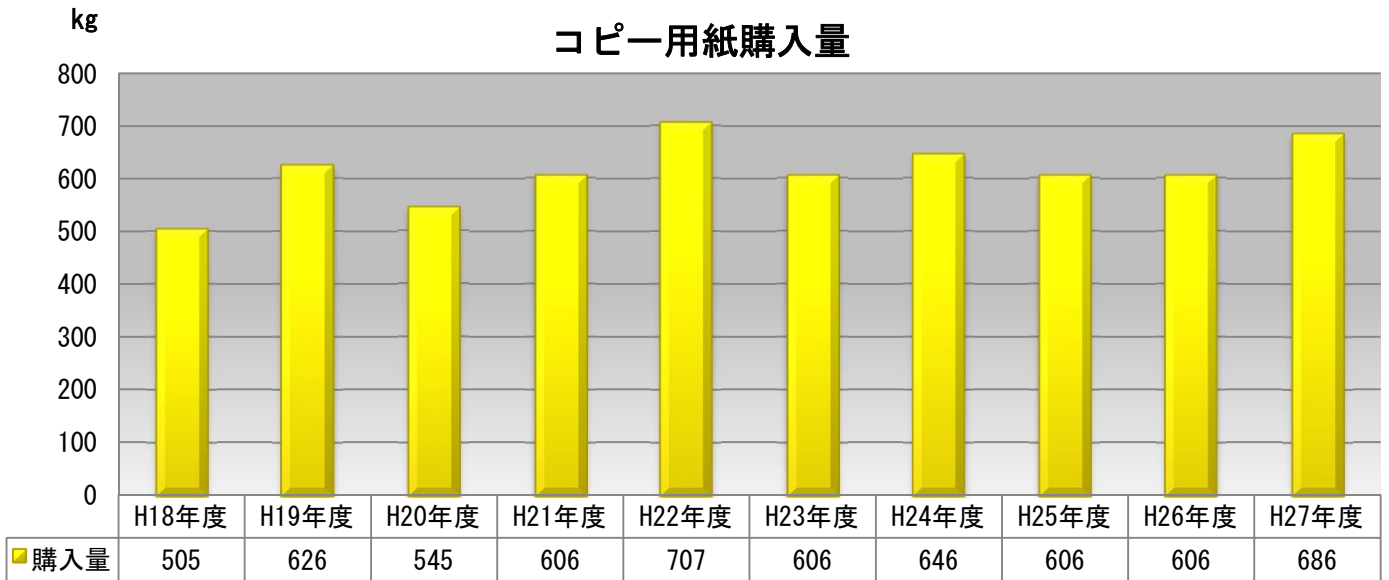


H25年度 実績対比	-3.0%
年度目標	6,084m <sup>3</sup>
年度実績	5,552m <sup>3</sup>
目標差	-532m <sup>3</sup>
目標対比	91.26%

H24年度から4年連続で目標達成となります。

毎朝実施している『水道メーター』の漏水チェック、井戸水の使用、設備にバルブを取付けたことなどにより目標の達成に繋がりました。

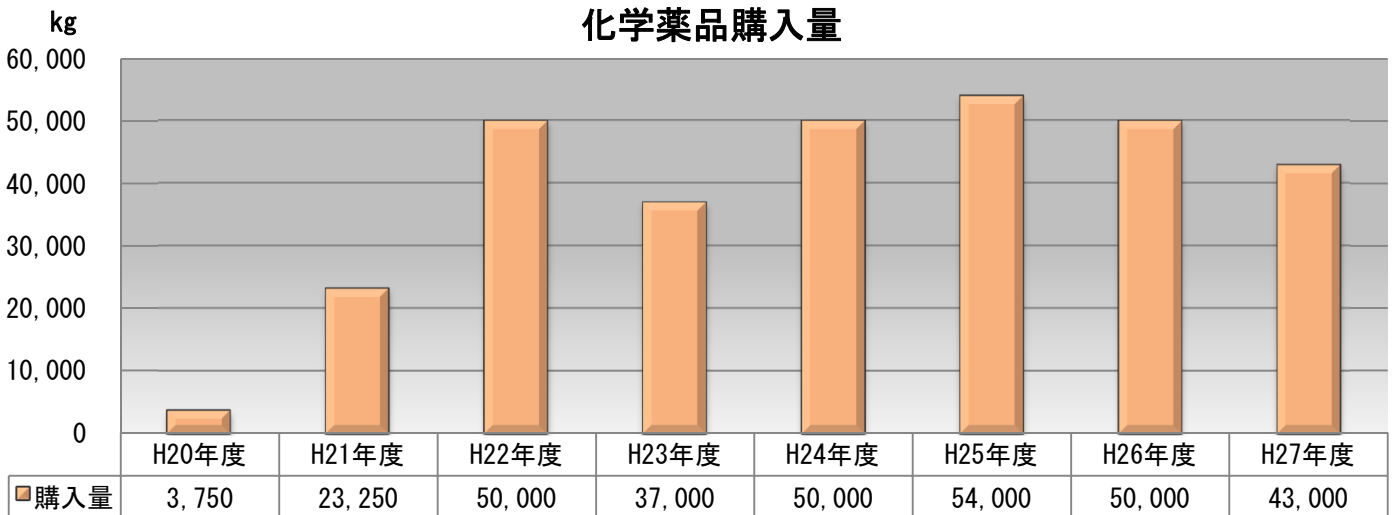
### (3) コピー用紙購入量



H25年度実績対比	-2.0%
年度目標	593kg
年度実績	686kg
目標差	+93kg
目標対比	115.68%

枚数換算で**+22,250枚**の結果となりました。  
H27年度は、規定書類等の大幅な改訂があり、目標が未達となりました。  
ミスプリントは裏紙として活用しています。日報、資料など使用可能なものは裏紙として活用することを従業員に周知し、削減に努めます。

### (4) 化学薬品購入量



H25年度実績対比	-2.0%
年度目標	52,920kg
年度実績	43,000kg
目標差	-9,920kg
目標対比	81.25%

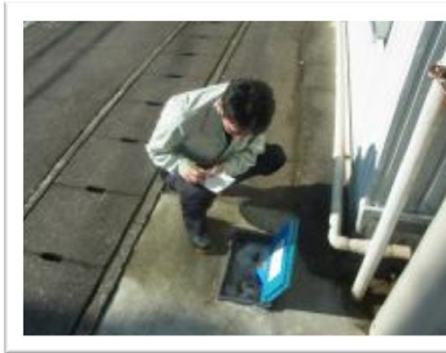
14,100kgを委託再生しました。

## 6. 環境活動計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

活動項目	環境目標	活動内容	評価/コメント	H28年度 取組内容
二酸化炭素 排出量の削減 -3.0%	購入電力量 -3.0%	■管理部 省電力商品の購入	○ 省電力エアコンの導入	■光事業部 使用量の把握
	ガス使用量 -1.5%	■加工事業部 使用量の低減 前年比：-1.0%	× 前年比：106.25%(+35.31m <sup>3</sup> )	■加工事業部 使用量の把握 前年度との比較
	ガソリン購入量 -1.5%	■管理部 ガソリン購入量の把握	○ 本 社：4,954.31ℓ 第2工場：1,602.34ℓ	■管理部 データ収集継続
	灯油購入量 -2.0%	■パイプ事業部 ボイラーの撤廃	○ ボイラーからエアコンへ 切り替え	■パイプ事業部 ボイラー撤廃後の把握
水道使用量の削減	水道使用量 -3.0%	■加工事業部 水道水使用量の把握	○ 合 計：5,225.06m <sup>3</sup> 平 均： 435.42m <sup>3</sup>	■加工事業部 データ収集継続
廃棄物 排出量の削減	可燃物 排出量 -1.0%	■管理部 排出量の計量	○ 事 務 所：89.05kg 品質管理課：132.00kg	■管理部 廃棄物のリサイクル化 リサイクル率：80%
		■管理部 機密紙の計量	○ 事 務 所：554.50kg 品質管理課：103.00kg	■パイプ事業部 雑紙の分別
		■光事業部 廃棄物量の把握	○ 合 計：203.86kg 基準値：20.00kg/月	■光事業部 廃棄物量の削減
	廃プラ 排出量 -1.0%	■光事業部 廃棄物量の把握	○ 合 計：126.52kg 基準値：20.00kg/月	■パイプ事業部 矯正ゴムの材質変更による リサイクル化
	コピー用紙 購入量 -2.0%	■加工事業部 裏紙の活用 1,375枚/年(125枚/月)	○ 活用枚数：2,324枚/年 (211枚/月)	■加工事業部 使用量の把握(A4用紙)  ■加工事業部 裏紙使用の推進 A4用紙リサイクル 前年比：105%
グリーン購入	—	■管理部 アスクール購入についての グリーン商品の推奨	○ グリーン購入比率：36.10%	■管理部 データ収集継続
製品/サービス	—	■加工事業部 製造歩留りの向上	○ 年度平均：97.03%	■加工事業部 データ収集継続
廃プラスチック リサイクル化	—	■パイプ事業部 矯正ゴム材質変更	○ 10月より材質変更 リサイクル率：65.80%	■パイプ事業部 矯正ゴムの材質変更による リサイクル化
		■パイプ事業部 ゴムパッキン材質変更	○ 11月より材質変更 リサイクル率：100.00%	
化学薬品購入量 の削減 -2.0%	—	■パイプ事業部 購入量の把握	○ 購入量：43,000kg	■パイプ事業部 化学薬品回収装置の導入



■清掃活動



■漏水チェック



■緑化活動



■ボイラーの撤廃  
第2工場：2015年6月～



■避難訓練  
本 社：2015年10月16日  
第2工場：2015年10月20日



■機密紙  
大宮製紙(株)様に機密紙を持ち  
込みました。 950kg  
2015年12月22日



■実地確認 化学薬品  
東名興産(株)様  
2016年3月16日



■実地確認 化学薬品  
(株)唐沢化学研究所様  
2016年4月12日



■エコキャップ  
重 量：26.96kg  
数 量：13,000ヶ  
2016年4月24日

# 7. 環境関連法規等の順守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無

## 1. 環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法令・条例等	適用内容又は規制基準値	備考	順守状況
廃棄物処理法	保管施設の表示と保管基準の順守 収集運搬業者及び処分業者との委託契約 委託契約書の保管 マニフェストの管理 マニフェストの交付状況報告	表示板(60cm×60cm) 契約書及び許可書 保存期間：5年間 A、B2、D、E票の保管 1回/年	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の選任 産業廃棄物処理の委託先の実地確認	管理責任者：望月洋明 1回/年以上	○
騒音規制法 静岡県生活環境の保全等に関する条例	特定施設設置届出書	空気圧縮機	○
振動規制法 静岡県生活環境の保全等に関する条例	特定施設設置届出書	空気圧縮機	○
水質汚濁防止法	特定施設設置届出書 廃水の水質調査	洗浄施設 1回/月	○
土壤汚染対策法	有害物質使用特定施設（水濁法）の廃止	土壤汚染調査	○
フロン排出抑制法	設置、使用、廃棄の義務 点検の実施 漏えい量の算定、報告	機器の圧縮機に用いられる電動機の定格出力によって1回/月以上、1回/3年以上の点検頻度	○
労働安全衛生法	定期健康診断 特定業務従事者の健康診断 局所排気装置設置届 局所排気装置定期自主検査 作業環境測定	1回/年 1回/半年 届出済 1回/年 1回/半年	○
消防法	ボイラー設備の届出 少量危険物 貯蔵の届出 防火管理責任者の選任 消防設備の設置届及び点検	少量危険物 貯蔵の届出 第4類 灯油 最大貯蔵数量950 L 防火管理責任者：高柳真一 届出済、1回/半年	○
浄化槽法	法定検査 保守点検、清掃	1回/年 保守点検：4回/年、清掃：1回/年以上	○
PRTR法	対象物質使用量管理 SDSの管理	1回/年 —	○
RoHS規制 REACH規制	顧客からの要求事項の順守	—	○
関連法規	家電リサイクル法・パソコンリサイクル法 自動車リサイクル法	家電、パソコン 社用車 エアコン、室外機	○

## 2. 違反、訴訟等の有無

過去3年間の違反、訴訟等はありません。

## 3. 近隣からの苦情

過去3年間の環境関連に関する近隣からの苦情はありません。

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

### 1. 環境活動の取組のチェック

—	活動内容	評価
管理部	可燃物排出量の計量	○
	機密紙の計量	○
パイプ事業部	ボイラー撤廃	○
	廃プラリサイクル化矯正ゴム材質変更	○
	廃プラリサイクル化ゴムパッキン材質変更	○
加工事業部	裏紙の活用 1,375枚/年	○
	ガス使用量の低減 前年比：-1.0%	×
光事業部	可燃物廃棄物量の把握	○
	廃プラ廃棄物量の把握	○

### 2. 代表者による全体評価・見直し指示

項目	変更の必要性	備考
環境方針	有 ・ 無	特になし
環境目標・計画	有 ・ 無	特になし
環境活動計画	有 ・ 無	特になし
環境法規の対応	有 ・ 無	特になし
全体評価・コメント	第2工場に於いて、冷暖房設備の改善で灯油使用量が減少し、効果があった。	

評価日：平成28年5月19日

代表者：大場 正晴